

シンポジウム内容

国際協力分野の人材育成を目指す日本の大学や大学院では、NGO への期待感が年々高まりをみせています。そうした中、NGO 関係者が講師として大学に招かれて講演や講義を行ったり、大学がNGOの企画する海外スタディツアーへの学生参加を奨励したり、学生がインターンやボランティアとしてNGO活動に直接関与したりする動きが各地で活発化しています。他方NGO側にも、活動広報、支援者拡大、組織能力強化などの為に大学との連携をより積極的に模索する動きがみられます。

しかし、そうした大学とNGOの連携は、これまで大学教職員・学生とNGO関係者との「個人的な関係」に依存する部分が多く、大学とNGOの間の「組織的な協働」は必ずしも十分に展開されてこなかった様に見えます。

これまで大学とNGOの「組織的な連携」を阻んできた要因とは何か。両者のそれぞれの“強み”を活かした真の連携のあり方とは何か。その国内外のグッドプラクティスの具体的事例には一体どのようなものがあるのか。

今回の外務省NGO研究会(裏面参照)の公開シンポジウムでは、99年に韓国の大学史上初の「NGO大学院」を設立し、NPO・NGOの実践的な教育・研究をリードしてきたチョ・ヒヨン氏(聖公会大学NGO大学院教授及び院長)をお招きし、その先駆的な取組みを学びながら、日本における大学とNGOの連携の将来像について考えます。

九州大学医学部百年講堂中ホール3

〒812-8582 福岡市東区馬出3丁目1番1号

(地下鉄箱崎線「馬出九大病院前」下車徒歩8分)



大学とNGOの連携

さらなる発展のために

外務省NGO研究会 公開シンポジウム

2012年

2月17日(金)

18:30-21:00

(開場 18:00)

九州大学医学部百年
講堂中ホール3

PROGRAM

- 18:30 挨拶・趣旨説明 (日韓通訳あり)
司会進行: 本田正之
(特活)NGO 福岡ネットワーク事務局職員)
挨拶: 原田君子
(特活)NGO 福岡ネットワーク事務局長)
- 18:45 第1部 問題提起
『大学とNGOの連携の現状
～日韓の事例から～』
- I 日本の大学とNPO/NGOとの連携
◆ 秋葉武さん
(立命館大学産業社会学部 准教授)
- II 韓国の大学とNGOの連携
◆ チョ・ヒヨンさん
(聖公会大学校 NGO 大学院 学長)
- 19:55 休憩
- 20:05 第2部 パネルディスカッション
<パネリスト>
- ◆ 藤井大輔さん
(九州国際大学国際関係学部助教・副学部長)
- ◆ リディア・ハンキンスさん
(西南学院 宗教主事)
- ◆ 小川博さん
(NPO 法人ソルト・パヤタス 代表)
- <講評>
- ◆ チョ・ヒヨンさん
<コーディネーター>
- ◆ 高橋良輔さん
(佐賀大学文化教育学部 准教授)
- 21:00 終了

主催 外務省

定員 70人

(当日参加も可能ですが、準備の都合上、事前にお申し込みくださるとありがたいです)

お問い合わせ・お申し込み

(特活)NGO 福岡ネットワーク(FUNN)

TEL: 092-405-9870

E-mail: funn@mbk.nifty.com

参加費 無料

本公開シンポジウムは、平成 23 年度外務省 NGO 研究会「大学と NGO の連携～大学との連携促進による、国際協力 NGO の組織力強化とスタッフの能力向上～」(座長：落合雄彦 龍谷大学法学部教授)の調査研究成果の発表及び社会還元をその主な目的として実施するものです。

同研究会は、以下の 4 つの部会で構成され、関西と九州を中心に様々な調査研究活動を展開してきました。

- (1) 「大学と NGO の連携」の現状や課題調査、それぞれの比較優位研究
- (2) 「大学と NGO の連携」のグッドプラクティス研究
- (3) 大学と NGO (+他セクター)による共同事業立案
- (4) 海外における「大学と NGO の連携」研究

本研究会は、(特活)関西 NGO 協議会が委嘱団体となっており、福岡シンポジウムにおいては(特活)NGO 福岡ネットワーク(FUNN)が開催に協力しています。

「外務省 NGO 研究会」

とは…

NGO が外務省の資金援助のもとで自らの事業実施能力や専門性の向上を図るために行う研究会のこと。各研究会では、NGO が直面する特定の課題について調査研究、セミナー、ワークショップ、シンポジウムなどを行い、具体的な改善方策などを報告・提言することになっています。平成 23 年度については、関西 NGO 協議会を含む 5 団体が外務省から NGO 研究会の委嘱を受けています。

講演者、パネリスト等略歴

問題提起



조희연 (ちょ ひょん)

聖公会大学 (Sungkonghoe University) NGO 大学院教授及び院長

ソウル大学卒。延世大学で社会学博士。1994 年、朴元淳弁護士(現、ソウル市長)とともに参与連帯創立。1999 年、李在禎神父(元統一部長官)とともに、市民運動家の再教育機関として聖公会大学 NGO 大学院を設立。2007 年、NGO 大学院の中にアジア社会運動家修士課程として MAINS (アジア非政府機構学課程)を開設。2003 年各メディア調査で「もっとも影響力のある知識人」に選定された。主著『韓国の国家・民主主義・政治変動』、『韓国の民主主義と社会運動』など多数。



秋葉 武 (あきば たけし)

立命館大学産業社会学部准教授

神奈川県生まれ。明治大学大学院政治経済学研究科博士後期課程修了。環境 NGO、アジア NGO フォーラム・コーディネーター、NPO 支援センタースタッフ等を経て、現職。担当科目は「NPO・NGO 論」「NPO マネジメント研究」など。最近の研究は、「事業型 NPO の資源動員とステークホルダー」「日韓の事業型 NPO・社会的企業の経営管理と政治環境」など。社会的活動として NGO の第 3 者評価、コンサルティングに携わる他、行政の各種委員を歴任。NPO 法人パブリックリソースセンター理事。

パネリスト

高橋良輔 (たかはし りょうすけ)

藤井大輔 (ふじい だいすけ)

リディア・ハンキンス

小川 博 (おがわ ひろし)

佐賀大学文化教育学部 准教授

九州国際大学国際関係学部 助教・副学部長

西南学院 宗教主事

特定非営利活動法人ソルト・パヤタス 代表

実施団体紹介

特定非営利活動法人 NGO 福岡ネットワーク (FUNN/ふぁん) は、国際協力・交流の各分野で地球市民的観点から活動に取り組んでいる団体や個人によって構成されている、福岡を中心とした九州地区最大の NGO のネットワーク組織です。主な活動は、①福岡・九州の NGO の活動を支援する②国際協力がより良いものになるよう政府に訴えかける③市民に国際協力や NGO の活動を分かりやすく伝える④国際協力活動を担う人材を育てる⑤市民、NGO、企業、行政、教育機関などを繋げる、です。1993 年に設立されてから、九州の NGO の窓口として様々な活動を行っています。